



日進工具株式会社

～超硬小径エンドミルのトップランナー～

2014年3月期 第1四半期決算概要



2013年7月31日
(証券コード6157)

目次

1. 2014年3月期1Qの業績 ～減収減益だが、ほぼ計画どおり～

- P. 3 … エグゼクティブサマリー
- P. 4 … ホットな話題
- P. 5 … 売上高の推移
- P. 8 … 売上総利益の推移
- P. 9 … 販管費の推移
- P.10 … 経常利益の推移
- P.11 … 損益計算書サマリー
- P.12 … 貸借対照表サマリー

2. 2014年3月期の業績見通し

- P.14 … 業績予想見通し
- P.15 … 2014年3月期の重点戦略について
- P.17 … 設備投資と減価償却費のトレンド
- P.18 … 株主還元について(増配と株式分割)
- P.19 … 株価推移とバリュエーション

3. 2014年3月期のIR活動について

- P.21 … 2014年3月期のIR活動目標
- P.22 … 一層開かれた株主総会を目指して
- P.23 … IR情報サイトのご案内

<参考資料>

- P.24 … ①創業時からの売上高・経常利益推移
- P.25 … ②過去5年間の業績と主要データの推移



1. 2014年3月期1Qの業績

エグゼクティブサマリー

前年同期比減収減益となるも ほぼ計画どおりの決算に

(百万円)

	2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	上期予想	進捗率
売上高	1,569 (+7.7%)	1,537 (-2.0%)	3,130 (+0.9%)	49.1%
営業利益	306 (+32.6%)	229 (-25.4%)	430 (-21.9%)	53.3%
経常利益	320 (+31.2%)	246 (-22.9%)	440 (-22.6%)	55.9%
四半期純利益	185 (+33.6%)	141 (-23.4%)	260 (-21.6%)	54.2%

※()内は前年同期比増減率

- 円高是正や米国景気の堅調等から、自動車関連やスマートフォン関連を中心に持ち直しの動きが見え始めたが、本格回復には至らず、四半期での過去最高売上高となった前年同期にあと一步届かず
- 子会社新工場稼動に伴う費用の増加に加え、海外展開や新製品開発等に関連する費用等から販売管理費も増加したため、営業利益は25.4%の減益
- 当期計画に対してはほぼ想定どおりの進捗状況

ホットな話題 日進工具香港 5月20日営業開始

社名: NS TOOL HONG KONG LIMITED

(日進工具香港有限公司)

住所: 香港九龍尖沙咀亞士厘道33號九龍中心

董事長: 後藤 弘治(日進工具社長)

総経理: 岩田 大助(日進工具エリアチーフ)

現地スタッフ: 3名

香港現地法人スタートの狙い

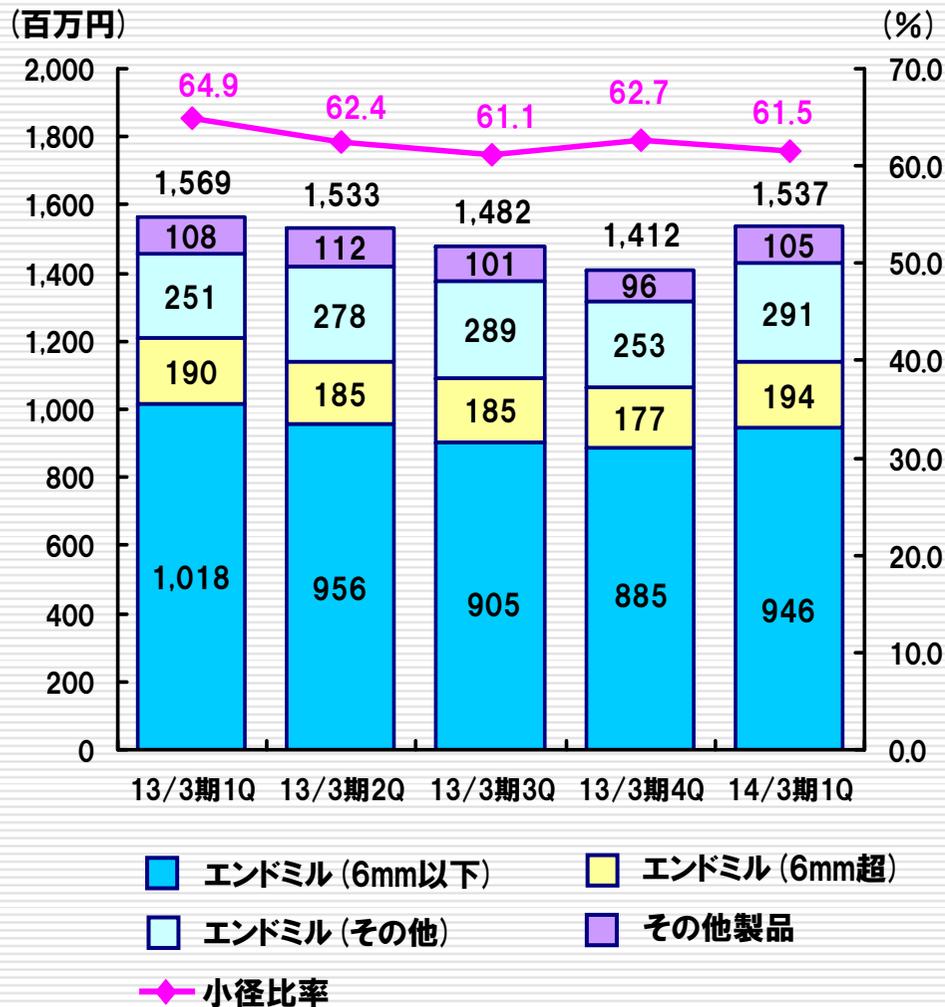
- 物流拠点の確保
現地に在庫を置くことで、これまでネックとなっていたデリバリー的大幅改善を図る
- ユーザーニーズの収集
香港に隣接する深セン・東莞は電気・電子産業の中心で各国の企業が製造拠点を置いている

NS TOOL 
HONG KONG LIMITED



売上高の推移① 製品別

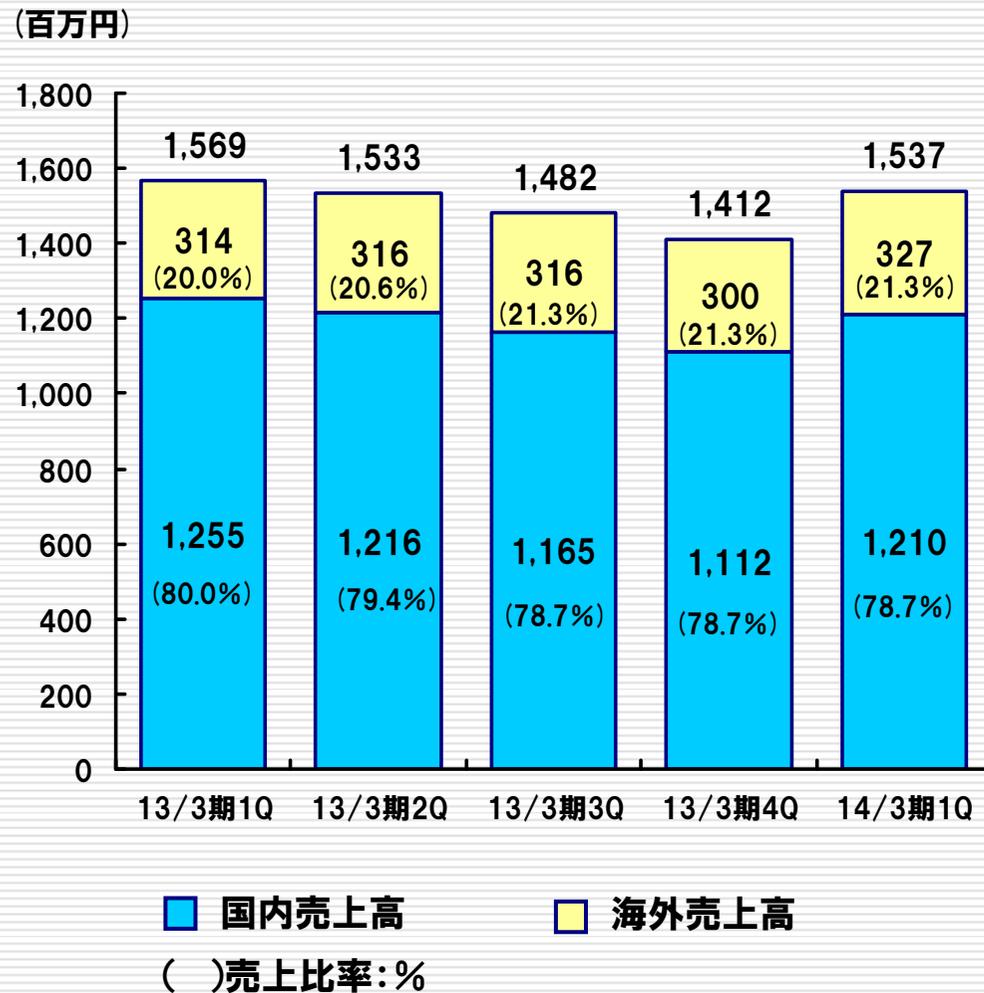
製品別売上高と小径比率の推移



- 当第1四半期の連結売上高は前年同期比2.0%減の1,537百万円
- 円高是正による輸出環境の改善や米国経済の堅調、また日中関係悪化の影響後退等から、3四半期続いた減少の動きから回復に転じた
- 製品別では、主力の「エンドミル (6mm以下)」が946百万円と前年同期比7.1%減少したが、「エンドミル (6mm超)」「エンドミル (その他)」の増加により全体としては2.0%の減少にとどまった。CBN製品や特殊品を含む「エンドミル (その他)」が伸び、小径比率は61.5%に低下

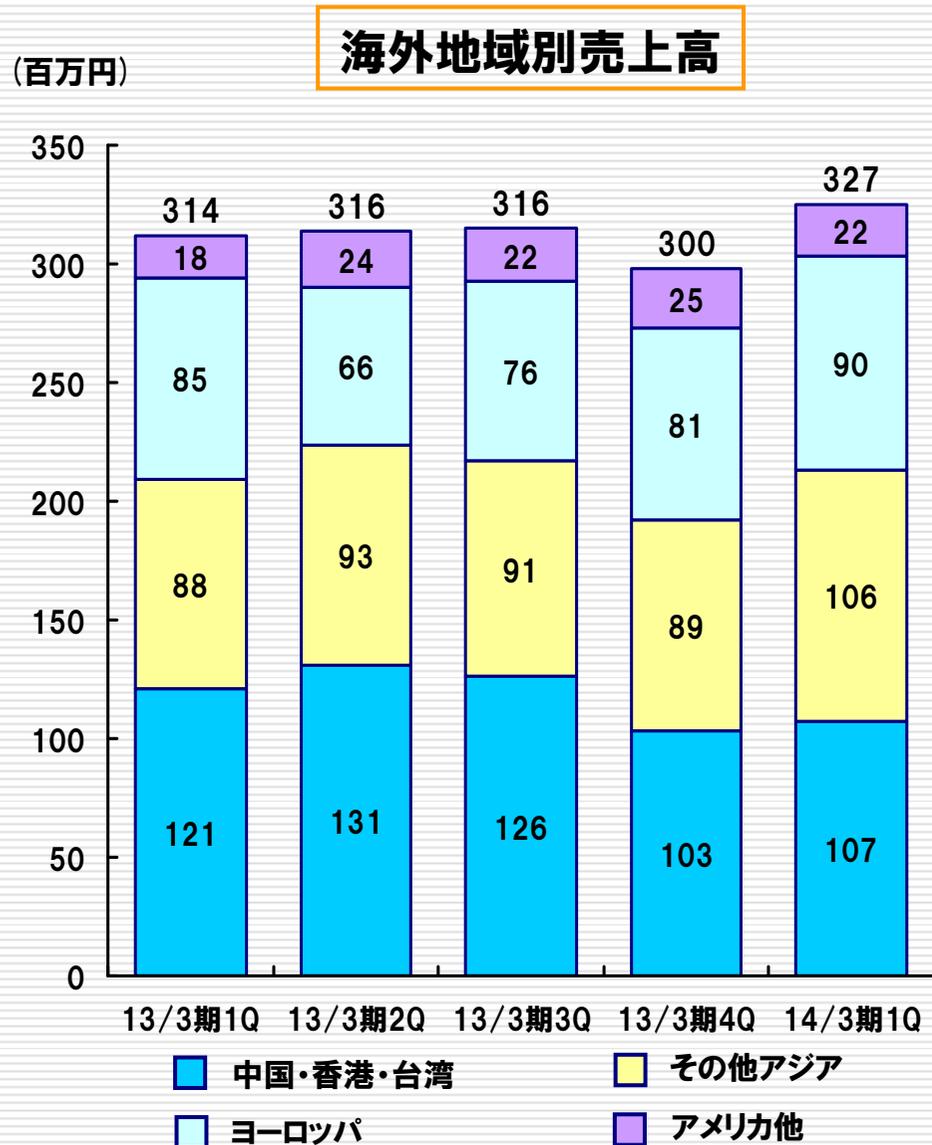
売上高の推移② 国内・海外

国内・海外売上高の推移



- 国内売上高は1,210百万円と前年同期比3.6%減であったが、海外売上高は同4.2%増の327百万円
- 海外売上高は四半期ベースでの過去最高を記録
- アジア向けが牽引し、海外売上高比率は前年同期比1.3ポイントアップの21.3%
- 海外向け製品は円建て販売が主体。円安による差益の発生はほぼ無いが、現地代理店における販売環境は改善

売上高の推移③ 海外地域別



□ スマホやタブレット関連向けの需要も回復しつつあるが、日進工具香港の連結調整の影響もあり中国・香港・台湾向けは前年同期比11.3%の減少

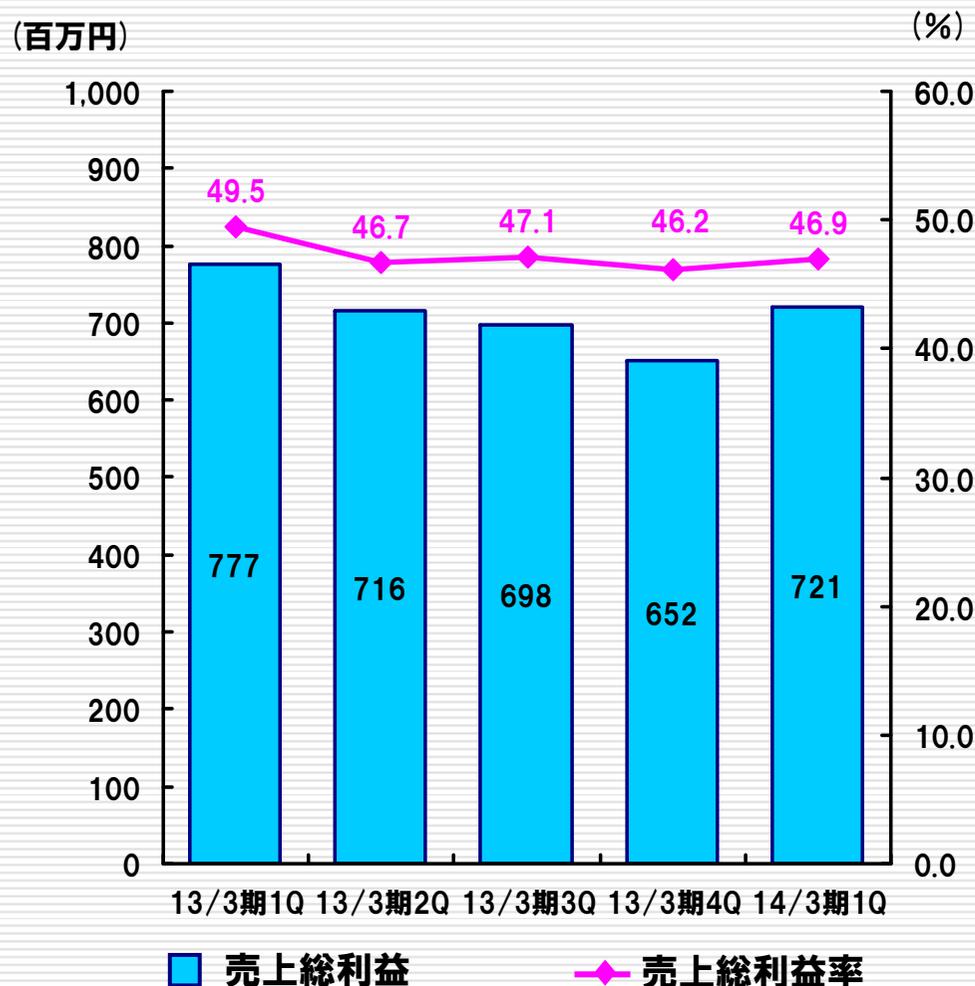
※日進工具香港は12月決算のため、連結時に3ヶ月のタイムラグが発生

□ 自動車関連の持ち直し等から、タイを中心としたその他アジアが同19.8%増と大きく伸びた

□ 欧州は債務危機問題以降厳しい状況が続いているが、これまで実績の無かった国での販売が加わり、前年同期比6.4%増となった

売上総利益の推移

売上総利益と売上総利益率の推移



□ 売上総利益は721百万円、前年同期比7.1%減となったが、四半期ベースでは4四半期ぶりのプラスに

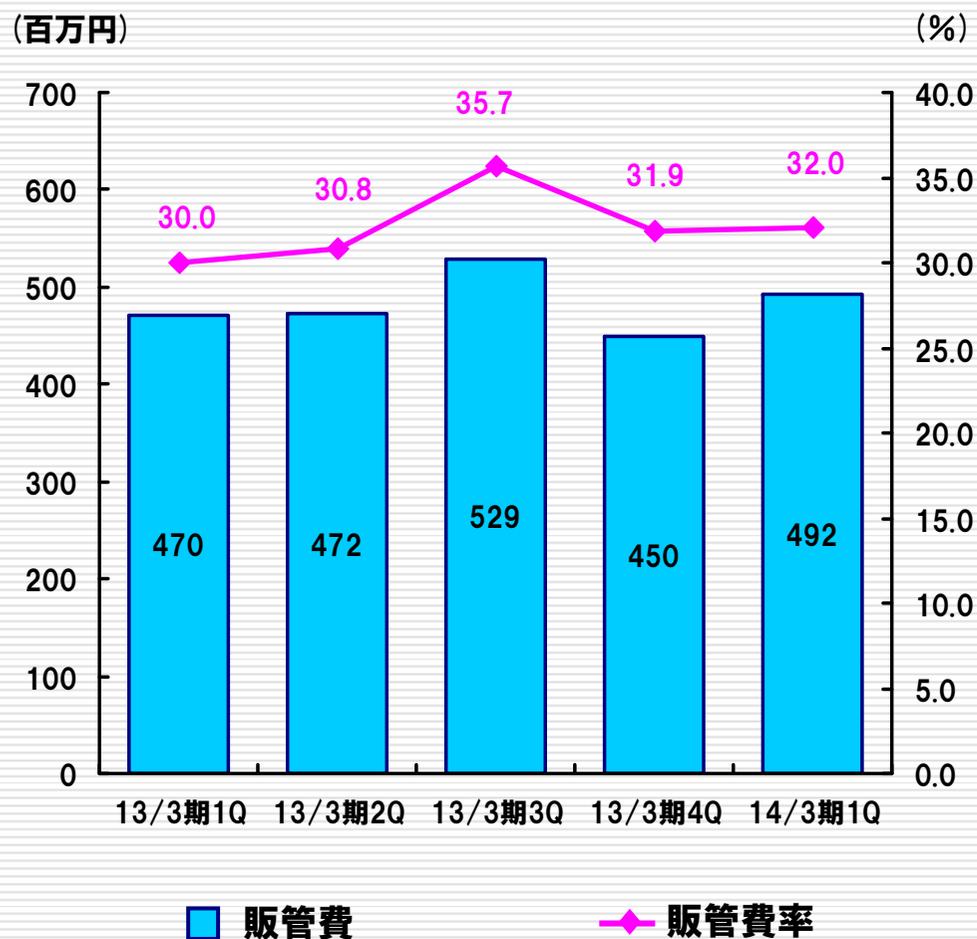
□ 子会社の新工場稼働の影響もあって、人員増（25名）から労務費が前年同期比12.2%増えた他、減価償却費増等から製造経費も14.5%増加

□ 材料費、外注加工費は前年同期比マイナスとなったものの、売上原価は同3.0%増加、売上総利益率は46.9%と同2.6ポイント低下



販管費の推移

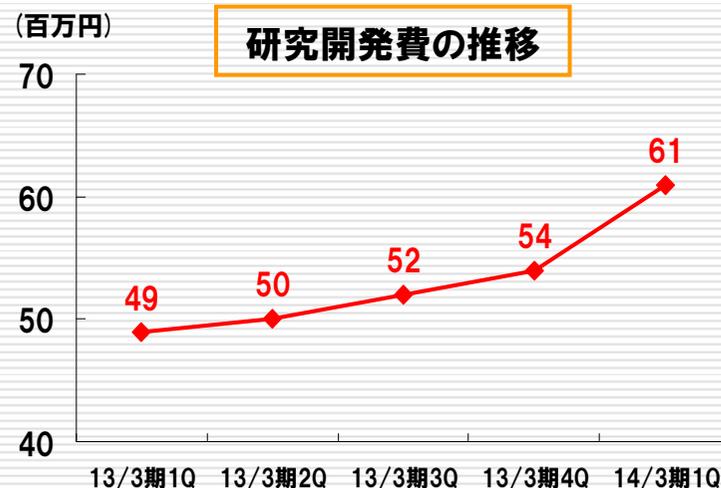
販管費と販管費比率の推移



□ 販売管理費は、人件費の増加や日進工具香港の営業開始に伴う費用、新製品開発のための研究開発費等の増加から、前年同期比4.8%増の492百万円

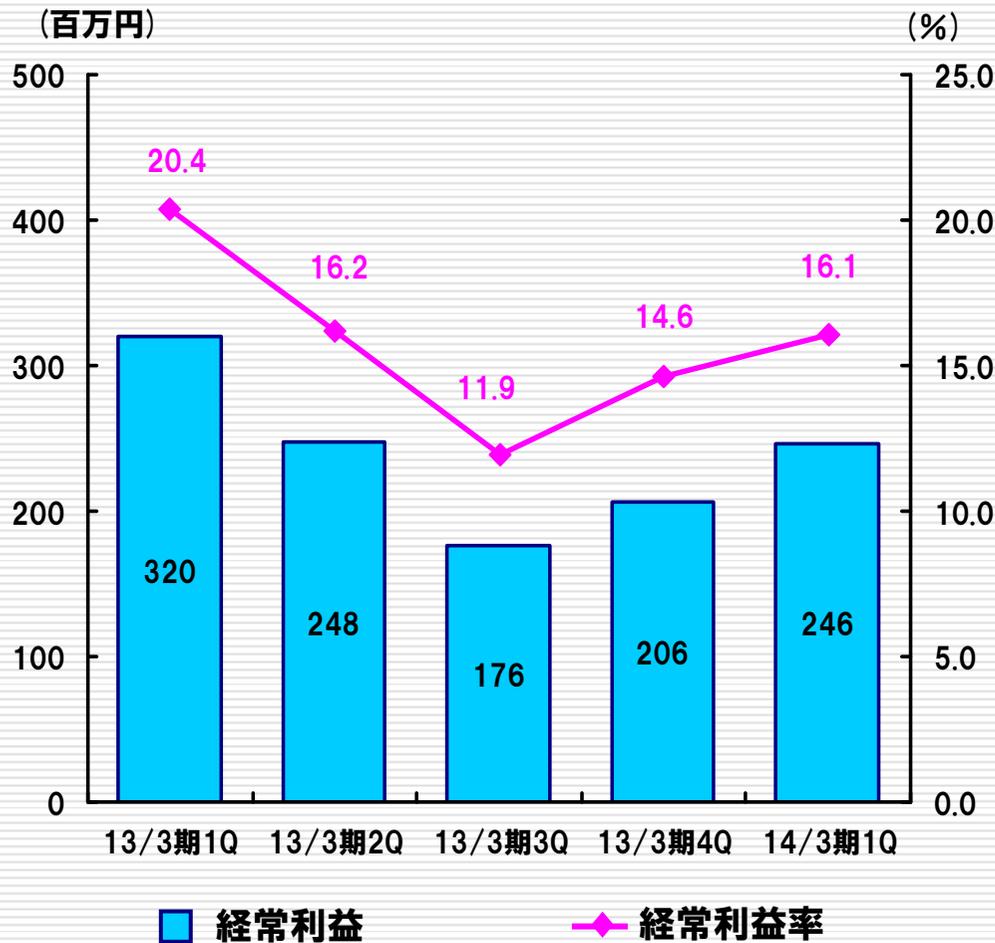
□ 期初予算の502百万円に対して10百万円下回ったが、販管費比率は前年同期比2.0ポイント上昇し32.0%

研究開発費の推移



経常利益の推移

経常利益と経常利益率の推移



□ 経常利益は前年同期比22.9%減の246百万円

□ 売上高経常利益率は同4.3ポイント後退して16.1%

□ 前年の第3四半期をボトムに経常利益は金額、比率ともに回復傾向となっている

損益計算書サマリー

(百万円)

	2013/3期1Q	2014/3期1Q	前年同期比	コメント
売上高	1,569	1,537	-2.0%	円高是正や米国経済の堅調等から回復基調となるも、過去最高となった前年同期には及ばず
売上総利益(率)	777 (49.5%)	721 (46.9%)	-7.1%	子会社新工場稼動に伴う労務費、製造経費の増加等から製造原価が上昇し、売上総利益は7.1%減。同利益率は2.6ポイント低下の46.9%
販管費(率)	470 (30.0%)	492 (32.0%)	+4.8%	海外子会社や新製品開発に係る費用と人件費の増加を主因に上昇したが、予算を10百万円下回る
営業利益(率)	306 (19.6%)	229 (14.9%)	-25.4%	売上原価、販管費共に増加となり、営業利益を圧迫、営業利益率は4.7ポイント低下して14.9%に
経常利益(率)	320 (20.4%)	246 (16.1%)	-22.9%	経常利益率は4.3ポイント低下し16.1%。但し昨年3Qの11.9%を底に持ち直しの傾向続く
当期純利益(率)	185 (11.8%)	141 (9.2%)	-23.4%	
設備投資額	427	215	-49.5%	子会社新工場が稼動し新規設備投資が一巡、通期でも前期比36.5%減少の見込み
減価償却費	125	137	+9.5%	今期からの新工場稼動により子会社牧野工業では前年同期比2.5倍になったが、日進工具は6.8%減
従業員数	260人	285人	+9.6%	子会社新工場稼動に伴う人員増と新卒採用により増加

※()は売上高に対する比率

貸借対照表サマリー

(百万円)

	2013/3	構成比	2013/6	構成比	前期比
(資産の部)					
I 流動資産	4,337	52.3%	4,235	52.3%	-2.3%
現金及び預金	1,913	23.1%	1,697	20.9%	-11.3%
受取手形及び売掛金	831	10.0%	890	11.0%	+7.1%
商品及び製品	820	9.9%	855	10.6%	+4.2%
II 固定資産	3,960	47.7%	3,870	47.7%	-2.3%
有形固定資産	3,654	44.0%	3,538	43.6%	-3.2%
無形固定資産	44	0.5%	55	0.7%	+23.8%
投資その他の資産	261	3.2%	276	3.4%	+5.8%
資産合計	8,297	100.0%	8,106	100.0%	-2.3%
(負債の部)					
I 流動負債	875	10.5%	650	8.0%	-25.7%
買掛金	99	1.2%	197	2.4%	+98.2%
II 固定負債	316	3.8%	329	4.1%	+4.2%
負債合計	1,191	14.4%	980	12.1%	-17.7%
(純資産の部)					
純資産合計	7,106	85.6%	7,125	87.9%	+0.3%
負債・純資産合計	8,297	100.0%	8,106	100.0%	-2.3%

□ 前期末にあった子会社
新工場関係等の未払金の
支払いにより、現金及び
預金と流動負債が見合い
で減少

□ 日進工具香港向けに製品
在庫の拡充を図ったため、
商品及び製品が増加

□ 無借金経営
(有利子負債額はゼロ)

□ 自己資本比率87.9%と
強固な財務体質を維持



2. 2014年3月期の業績見通し

業績予想見通し

2014年3月期の業績予想

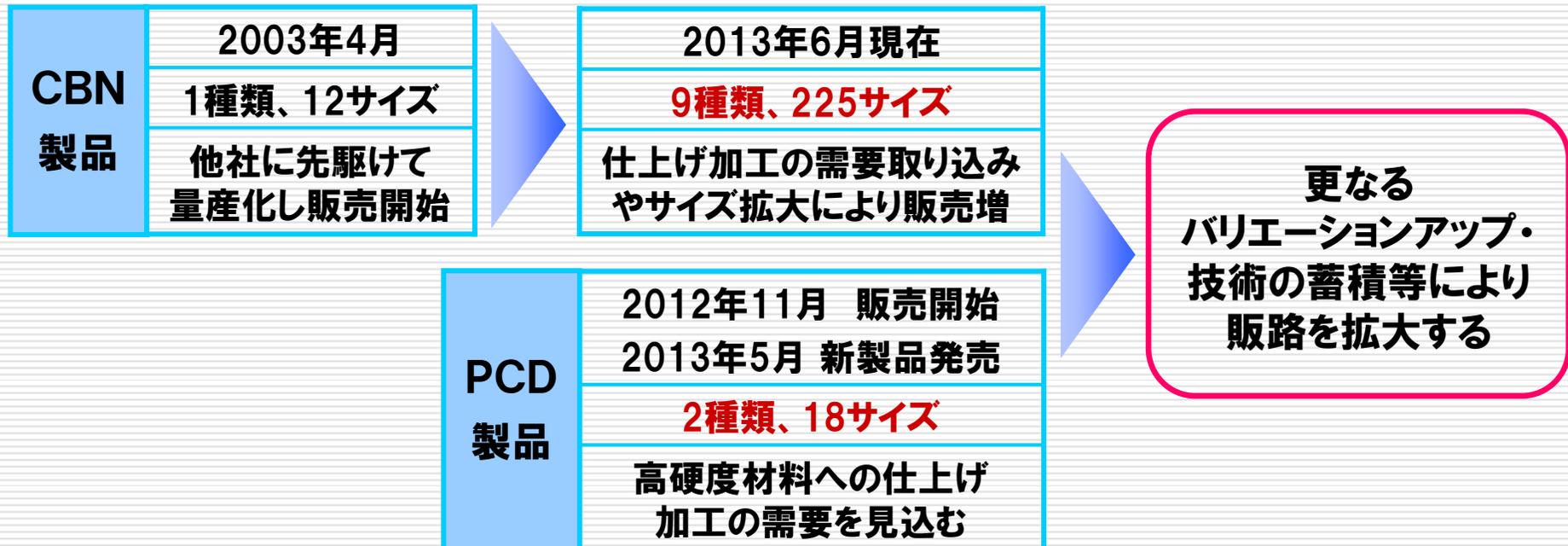
(百万円)

	2013/3 実績	2014/3 予想	前期比	コメント
売上高	5,997	6,340	+5.7%	アベノミクスによる円高修正や景気回復期待、米国経済の堅調等を背景に増収を見込む
営業利益	921	1,000	+8.5%	売上総利益率は46.5%と0.9ポイント下がるが、増収により売上総利益は3.7%の増加を見込む。また販管費比率を30.9%に抑え、営業増益を見込む
経常利益	951	1,020	+7.2%	
当期純利益	527	620	+17.5%	前期先行投資から赤字となった子会社の業績改善を見込む
設備投資額	1,001	645	-35.6%	子会社新工場への投資で増加したが、今期は通常レベルに戻る計画
減価償却費	563	583	+3.5%	設備投資増加の影響が今期は通年におよぶため、減価償却費が上昇
EPS	168.75円	198.34円	+17.5%	
1株当り配当金	39円	40円	+2.6%	配当性向20%を目標

2014年3月期の重点戦略について①

1. 高付加価値製品の販売強化

- CBN製品やPCD製品のバリエーションを増やすとともに、それらの特長を活かした加工方法や技術情報を充実させ、ユーザー層の拡大を図る



2. 商品力の見直し

- Made in Japanの性能と品質 ⇒ 精度・寿命・効率性などにおいて、より高い次元の製品を安定的に供給し、差別化を図る

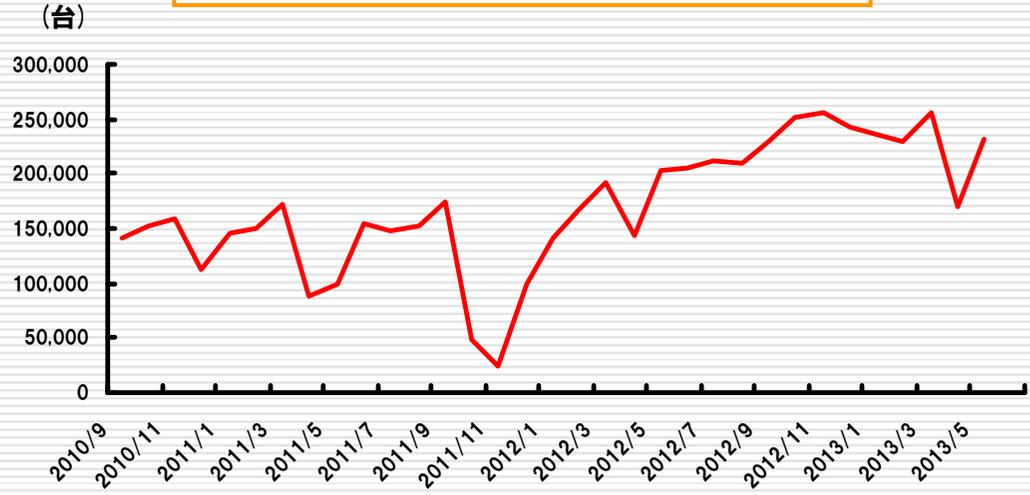
2014年3月期の重点戦略について②

3. アジア販売強化

- 香港に在庫を持つことで、中国地域におけるデリバリーを改善し販売増を図るとともに、チャイナプラスワンで活況なタイを中心にASEANに注力する



タイにおける自動車生産台数の推移



4. コストダウンの強化

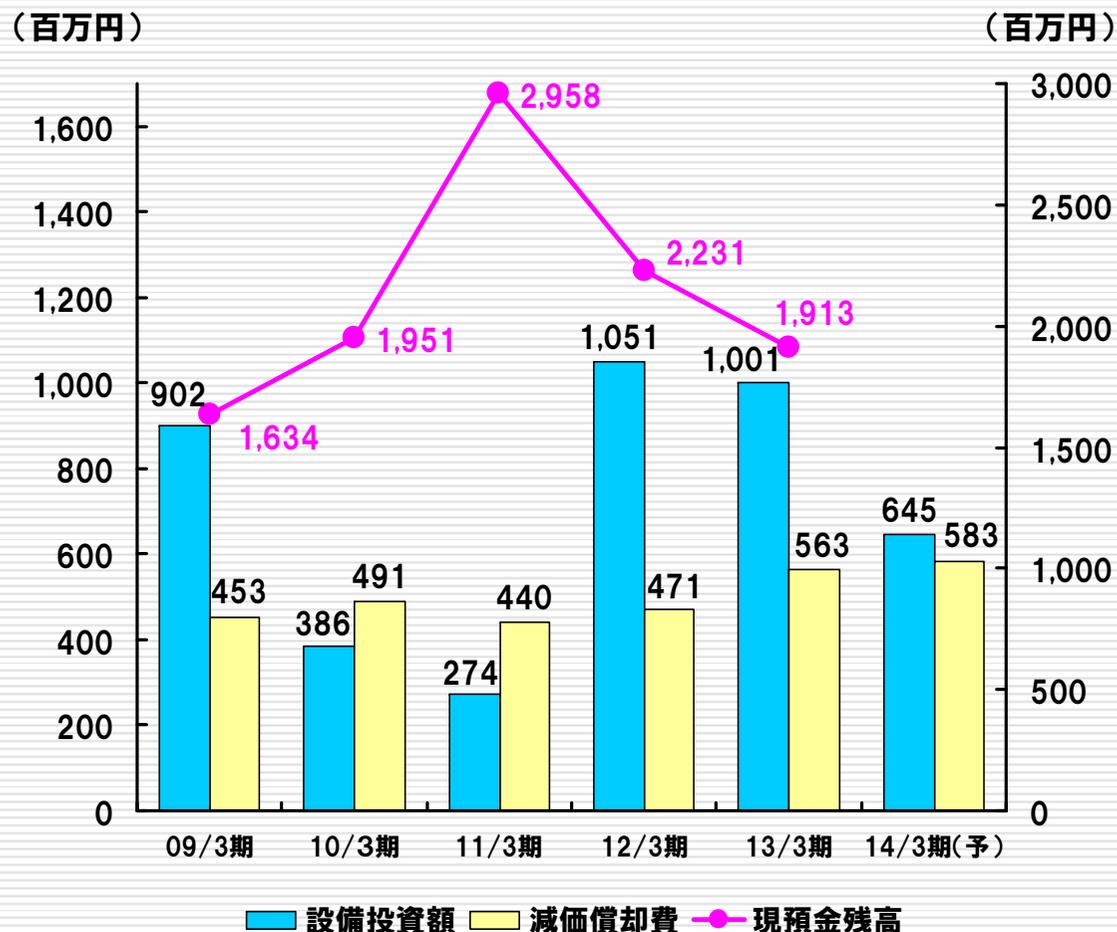
- 自動化や無人化等の製造面でのコストダウンに加え、販売管理費等についてもグループ全体で低減を図る

～自動化・無人化の進捗状況～

自社開発工具研削盤による自動化3ライン ⇒ 更なる拡大へ

設備投資と減価償却費のトレンド

設備投資、減価償却費及び現預金残高の推移

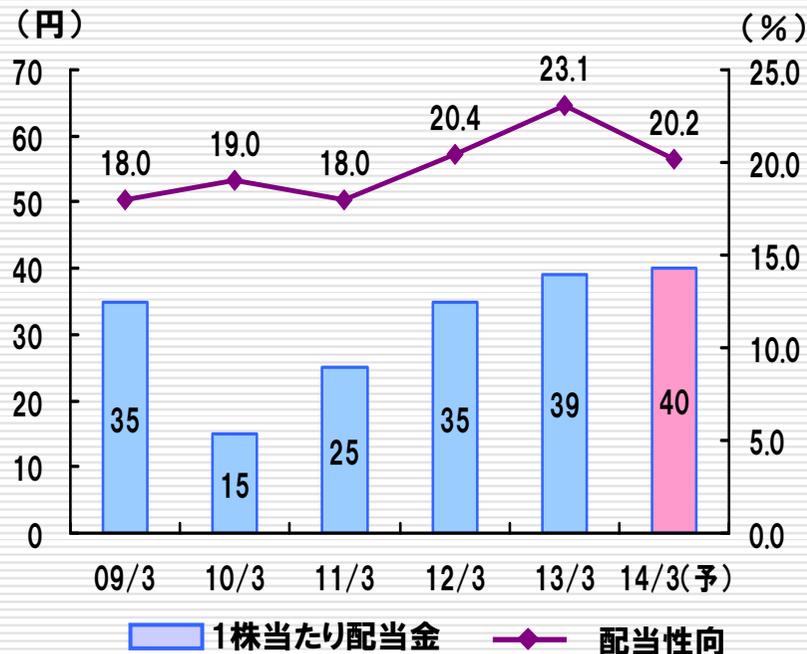


- 09年3月期は量産用コーティング炉の導入により設備投資額が上昇
- 12年3月期は仙台倉庫取得、13年3月期は牧野工業白河工場建設により設備投資額が上昇
- 14年3月期は自動化推進のための設備投資は継続するものの特殊要因なく投資額は減少
- 15年3月期も14年3月期とほぼ同じトレンドを想定

(左軸:設備投資額・減価償却費、右軸:現預金残高)

株主還元について（増配と株式分割）

① 配当の推移



業績に応じた利益還元

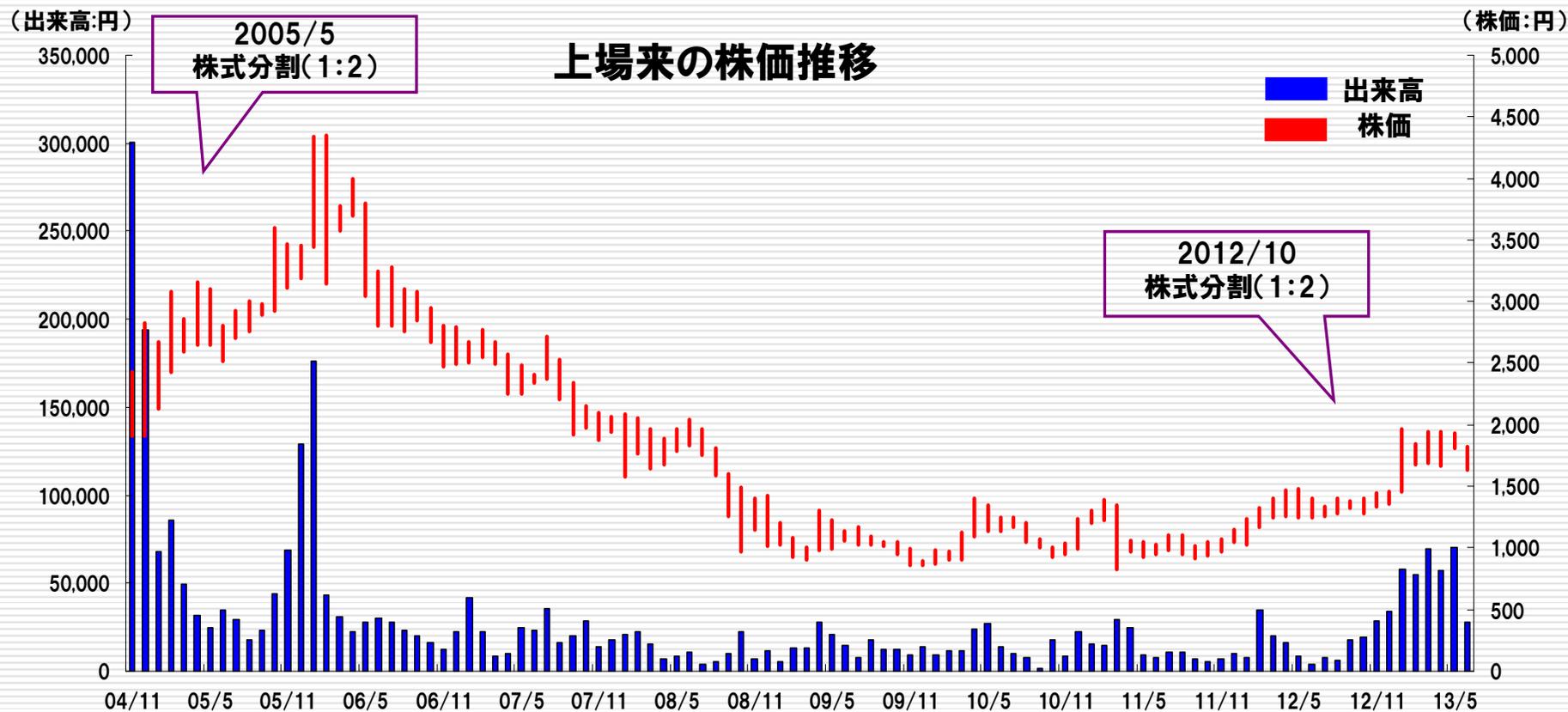
（配当性向20%を目標）

- 2013年3月期は株式分割の際に配当を上方修正し、1株当り39円
- 2014年3月期は増益を見込むため1円増配し1株当り40円を予定（業績予想に対する配当性向は20.2%）

② 株式分割を実施

- 2012年10月1日に1株 → 2株の株式分割を実施
- 従来からの経営課題であった「流動性」の改善を図り、投資家の利便性向上へ

株価推移とバリュエーション



バリュエーション(2013年7月29日現在)

時価総額	: 56.6億円	自己資本比率(13/6期実績)	: 87.9%
PER(14/3期予想)	: 9.13倍	有利子負債依存度(13/6期実績)	: 0%
PBR(13/3期実績)	: 0.80倍	ROE(13/3期実績)	: 7.7%



3. 2014年3月期のIR活動について

2014年3月期のIR活動目標

日進工具株式会社 IR活動目標（2014年3月期）

1. 企業の認知度向上に努め、事業内容の理解促進に注力いたします。
 - ◆ 個人投資家向け説明会を年3回以上開催いたします。
 - ◆ アナリスト・機関投資家向け決算説明会を本決算・第2四半期決算の年2回開催いたします。
 - ◆ 個人投資家向け説明会、アナリスト・機関投資家向け決算説明会で使用したIR資料や質疑応答の内容については、可能な限りウェブサイトに掲載して広く公開いたします。
2. 企業理念並びに経営戦略を、情熱を持ってお伝えいたします。
 - ◆ 個人投資家向け説明会、アナリスト・機関投資家向け決算説明会については、すべて代表取締役社長の後藤弘治が直接説明し、すべての質問に回答いたします。
 - ◆ アナリスト・機関投資家との個別取材については、すべての取材依頼に対応いたします。
なお、取材の際は代表取締役社長の後藤弘治またはIR担当役員の田島寛のいずれかが必ず対応いたします。
 - ◆ 日進工具の企業価値や事業戦略を理解していただけるよう、明快なIRツールの提供を目指し、説明会で使用するIR資料並びにウェブサイトの改善に取り組みます。
3. 中長期のステークホルダーを増やし、株主満足度向上に邁進いたします。
 - ◆ 株主・投資家の皆様の声を経営にダイレクトにフィードバックし、企業価値の向上に努めます。
 - ◆ 電話やメールでのお問い合わせについては、原則としてすべてに対応いたします。
なお、多く寄せられる質問につきましては、ウェブサイトのFAQコンテンツに掲載し、広く公開いたします。
 - ◆ より多くの株主の皆様にお越しいただけるよう、株主総会を土曜日に開催いたします。
なお、株主総会では原則としてすべての質問に回答いたします。
 - ◆ 株主の皆様は、配当性向に配慮しつつ業績に応じた適切な利益還元を実施いたします。

一層開かれた株主総会を目指して

第52期(2013年3月期)の株主総会の概要

開催日時	2013年6月22日(土) 10:30~11:30
会場	大森東急イン 5階 フォレストルーム (JR大森駅直結)
御土産	・JCBギフトカード1,000円 ・海苔・海苔煎餅セット

第52期の株主総会について

1. 昨年度と同じく株主様のご来場しやすい土曜日に開催

参加人数は68名となり、昨年度に比べ19名増加いたしました

2. 活発な質疑応答

質疑応答では16件の質問があり、全て代表取締役社長の後藤弘治がお答えいたしました

第53期(2014年3月期)の株主総会も株主満足度の一層の向上を目指します

IR情報サイトのご案内



メニュー表示

「トップメッセージ」、「よくあるご質問」、「IRお問い合わせ先」
⇒メニュー名クリックで各ページに移動します

それ以外はメニューにカーソルを合わせると各メニューの
詳細ページ項目が表示されます
(項目クリックで該当ページに移動できます)

投資家の皆様へ

投資家の皆様特にご覧頂きたいページをピックアップしています

IRニュース

適時開示情報や説明会のお知らせ、レポート更新など最新の
IR情報を掲載しています

「IRニュース一覧へ」をクリックすると、表示されていない過去の
IRニュースをご覧いただけます

メニュー項目

ワンクリックで各メニューの詳細ページに移動できます

URL: <http://www.ns-tool.com/ir/>
当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください

<参考資料> 過去5年間の業績と主要データの推移

(百万円)

	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期
売上高	5,251	3,857	4,977	5,781	5,997
経常利益	1,052	361	834	1,032	951
当期純利益	598	242	426	535	527
有利子負債額	0	0	0	0	0
純資産額	5,649	5,784	6,164	6,678	7,106
総資産額	6,265	6,363	7,143	7,906	8,297
自己資本比率	90.2%	90.9%	86.3%	84.5%	85.6%
設備投資額	902	386	274	1,051	1,001
減価償却費	453	491	440	471	563
1株当たり 配当金	35円	15円	25円	35円	39円
従業員数	205人	205人	206人	232人	281人

お問い合わせ

日進工具株式会社

執行役員管理部長 田島 寛 / IR担当 今関 弘毅

TEL : 03-3763-5672

FAX : 03-3764-8225

E-mail : ir@ns-tool.com

将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。